

「みなまたの約束」翻訳ボランティア 募集のご案内

あなたの国のことばで訳してください!

みなまたの約束

水俣は過去50年の歴史の中には、いろいろな失敗がありました。そして、これらの経験を通じ、汚染された自然環境や 混乱した社会環境を元に戻すことの困難さを水俣は学びました。これからの50年に向かって、自然とのつきあい方、暮らし方、産業活動、コミュニティを「もやい」で捉え直し、いのちの輝きを増していきます。人が好き、自然が好き、住んでいる場所が好きと、素直に言える「まち」をつくれます。

1. 水俣はいのちを大切にします。
2. 周りに異変があるときは、現場の声を大切にして、目をそらさず、しっかり調べます。
3. 産業活動の目的は、利潤追求だけではなく、真の豊かな暮らしを支えることです。
4. 行政の仕事は、住民とともに幸せな暮らしをつくりだすことです。
5. モノの豊かさだけの時代を越えて、もったいない精神の、落ち着いた暮らしを創造します。
6. 失敗から学ぶことによって、失敗を無駄にしません。犯した過ちを素直に認め、行動で改めていきます。
7. 過去を振り返り未来を想像しながら、少数の意見にも耳を傾けて、自分たちの地域は自分たちでつくっていきます。
8. 水俣病の経験を伝えることは、いのちの大切さを伝えることです。

2006年10月21日 水俣病公式確認50年事業・みなまた塾委員会

趣旨・目的

水俣病公式確認50年事業「もやい部会」のみなまた塾委員会では、水俣地域に住んでいる人が中心となって、住民の自己宣言としての「みなまたの約束」を作成しました。

生き物や自然を犠牲にしない人間の暮らしを選び取ることが、二度と水俣病のような悲しく苦しい悲劇を起こさないための前提条件です。「みなまたの約束」は、そうした考えを基準にしたいと思います。

どうぞ皆様のご理解と実践をお願いいたします、

2006年10月21日 みなまた塾委員会

◆平成18年10月21日もやいの日の座談会(もやいステージ)で10ヵ国語で発表

[日本語](#)、[英語](#)、[中国語](#)、[韓国語](#)、[台湾語](#)、[ドイツ語](#)、[イタリア語](#)、[フランス語](#)、[スペイン語](#)、[タガログ語](#) [マレー語](#)



100ヵ国語を目指します。

